

平成23年社会生活基本調査結果

佐賀県の概要

平成23年10月20日現在で実施した「平成23年社会生活基本調査」の結果が総務省統計局から公表されました。

これは、佐賀県分の概要をとりまとめたものです。

●佐賀県の結果はこちら

佐賀県HP

→ http://www.pref.saga.lg.jp/web/kensei/_1366/toukei.html

●全国の結果はこちら

総務省統計局HP

→ <http://www.stat.go.jp/data/shakai/2011/index.htm>

佐賀県経営支援本部統計調査課

目 次

結果の概要

平成23年社会生活基本調査の概要	1
I 生活行動に関する結果	
1 学習・自己啓発・訓練	2
2 ボランティア活動	3
3 スポーツ	4
4 趣味・娯楽	5
5 旅行・行楽	6
II 生活時間に関する結果	
1 1日の生活時間	7
2 1次活動	
(1) 睡眠時間	9
(2) 食事時間	10
3 2次活動	
(1) 仕事時間(有業者)	11
(2) 家事関連時間	12
4 3次活動	
(1) 休養等自由時間活動	13
(2) 積極的自由時間活動	14
5 各種属性別にみた生活時間	
(1) 夫と妻の生活時間	15
6 主な行動の平均時刻	
(1) 起床・就寝時刻、朝食・夕食開始時刻	16
(2) 出勤及び仕事からの帰宅時刻	17

主要統計表

I 生活行動に関する結果

第1表	学習・自己啓発・訓練の男女、年齢、種類別行動者数及び行動者率
第2表	学習・自己啓発・訓練の種類別行動者率（都道府県別）
第3表	ボランティア活動の男女、年齢、種類別行動者数及び行動者率
第4表	ボランティア活動の種類別行動者率（都道府県別）
第5表	スポーツの男女、年齢、種類別行動者数及び行動者率
第6表	スポーツの種類別行動者率（都道府県別）
第7表	趣味・娯楽の男女、年齢、種類別行動者数及び行動者率
第8表	趣味・娯楽の種類別行動者率（都道府県別）
第9表	旅行・行楽の男女、年齢、種類別行動者数及び行動者率
第10表	旅行・行楽の種類別行動者率（都道府県別）

II 生活時間に関する結果

第11表	曜日、男女、行動の種類別総平均時間（10歳以上）
第12表	男女、年齢、行動の種類別総平均時間（10歳以上）
第13表	主な行動の平均時刻（都道府県別）－平日

－ 平成 23 年社会生活基本調査の概要 －

1 調査の目的

社会生活基本調査は、国民の生活時間の配分及び自由時間における主な活動について調査し、国民の社会生活の実態を明らかにすることを目的とし、昭和 51 年の第 1 回調査以来 5 年ごとに実施している。平成 23 年調査で 8 回目となる。

2 調査対象

総務大臣が指定する 123 調査区（全国では 6,902 調査区）の中から無作為に選定した約 1,500 世帯（全国では約 83,000 世帯）に居住する 10 歳以上の世帯員を対象とした。

3 調査期日

調査は平成 23 年 10 月 20 日現在で実施した。

ただし、生活時間については、10 月 15 日から 10 月 23 日までの 9 日間のうち、調査区ごとに指定した連続する 2 日間について調査した。

4 調査事項

(1) 全ての世帯員に関する事項

世帯主との続柄、出生の年月又は年齢、在学・卒業等教育又は保育の状況

(2) 10 歳未満の世帯員に関する事項

育児支援の利用の状況

(3) 10 歳以上の世帯員に関する事項

学習・研究活動、ボランティア活動、スポーツ活動、趣味・娯楽活動、旅行・行楽の状況など

(4) 15 歳以上の世帯員に関する事項

介護の状況、就業状態、就業希望の状況、勤務形態、年次有給休暇の取得日数、仕事の種類、ふだんの 1 週間の就業時間、通勤時間など

(5) 60 歳以上の世帯員に関する事項

子の住居の所在地

(6) 世帯に関する事項

世帯の種類、10 歳以上の世帯員数、10 歳未満の世帯員数、自家用車の所有の状況など

5 主な用語の解説

行動者数……………過去 1 年間に該当する種類の活動を行った人（10 歳以上）の数

行動者率……………10 歳以上人口に占める行動者数の割合（％）

平均行動日数……………行動者について平均した過去 1 年間の行動日数

1 次活動……………睡眠、食事など生理的に必要な活動

2 次活動……………仕事、家事など社会生活を営む上で義務的な性格の強い活動

3 次活動……………1 次活動、2 次活動以外で各人が自由に使える時間における活動

家事関連……………2 次活動のうち、家事、介護・看護、育児及び買い物

休養等自由時間活動……3 次活動のうち、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌及び休養・くつろぎ

積極的自由時間活動……3 次活動のうち、学習・自己啓発・訓練（学業以外）、趣味・娯楽、スポーツ及びボランティア活動・社会参加活動

I 生活行動に関する結果

1 学習・自己啓発・訓練

○行動者率は31.1%で5年前より1.4ポイント上昇。種類別では、「英語」、「パソコンなどの情報処理」、「家政・家事」などで上昇

過去1年間（平成22年10月20日～23年10月19日。以下同じ。）に何らかの「学習・自己啓発・訓練」を行った人（10歳以上）の数（行動者数。以下同じ。）は23万人で、10歳以上人口に占める割合（行動者率。以下同じ。）は31.1%となっている。全国平均（35.2%）と比べると4.1ポイント低く、全国順位は32位となっている。男女別にみると、男性は29.2%、女性は32.8%で、女性が男性より3.6ポイント高くなっている。

行動者率を平成18年（総数：29.7%、男性：29.0%、女性：30.4%）と比較すると1.4ポイント上昇している。男女別にみると、男性が0.2ポイント、女性が2.4ポイント上昇している。

行動者率を種類別にみると、「パソコンなどの情報処理」が11.0%と最も高く、次いで「芸術・文化」が8.9%などとなっている。これを平成18年と比べると、「商業実務・ビジネス関係」が1.7ポイント低下、「英語」が0.8ポイント上昇、「パソコンなどの情報処理」及び「家政・家事」が0.7ポイント上昇などとなっている。（図1-1）

男女別にみると、男性は「パソコンなどの情報処理」が13.8%と最も高く、次いで「人文・社会・自然科学」が7.2%などとなっている。女性は「家政・家事」が12.1%と最も高く、次いで「芸術・文化」が11.2%などとなっている。（図1-2）

図1-1 「学習・自己啓発・訓練」の種類別行動者率（平成18年、23年）

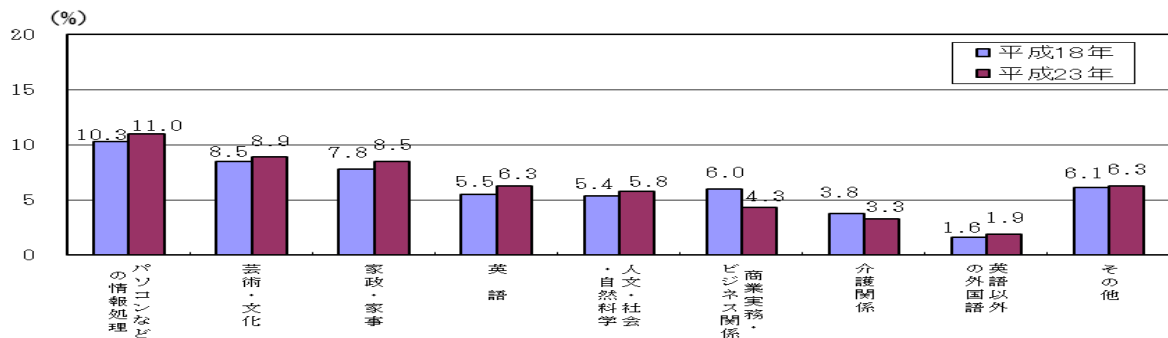
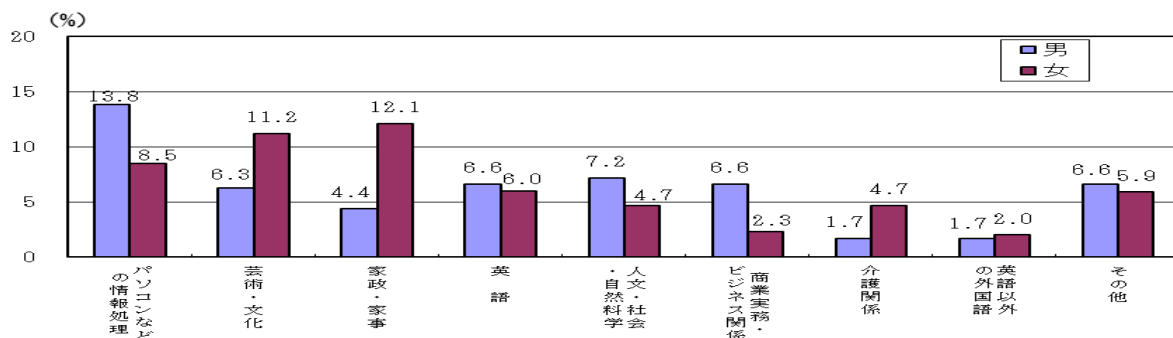


図1-2 「学習・自己啓発・訓練」の種類、男女別行動者率（平成23年）



2 ボランティア活動

○行動者率は31.8%で5年前より1.2ポイント低下したが、全国平均を上回り全国第9位

過去1年間に何らかの「ボランティア活動」を行った人は23万5千人で、行動者率は31.8%となっている。全国平均(26.3%)と比べると5.5ポイント高く、全国順位は9位となっている。男女別にみると、男性は33.5%、女性は30.3%で、男性が女性より3.2ポイント高くなっている。

行動者率を平成18年(総数:33.0%、男性:35.2%、女性:31.1%)と比較すると1.2ポイント低下している。男女別にみると、男性が1.7ポイント、女性が0.8ポイント低下している。

行動者率を種類別にみると、「まちづくりのための活動」が17.1%と最も高く、次いで「子供を対象とした活動」が9.4%などとなっている。これを平成18年と比べると、「子供を対象とした活動」が3ポイント上昇している。(図2-1)

男女別にみると、男女ともに「まちづくりのための活動」が最も高く、次いで「子供を対象とした活動」となっている。(図2-2)

図2-1 「ボランティア活動」の種類別行動者率(平成18年、23年)

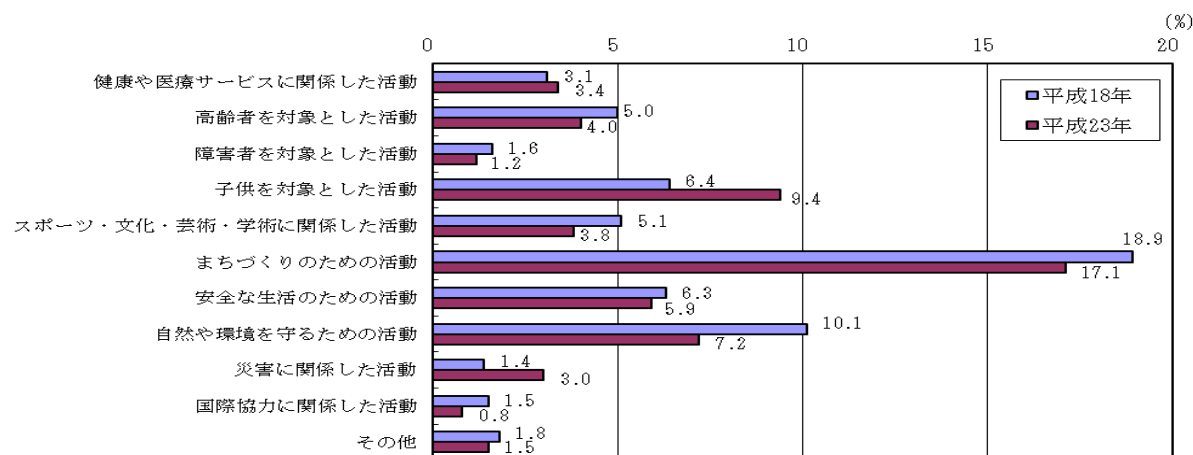
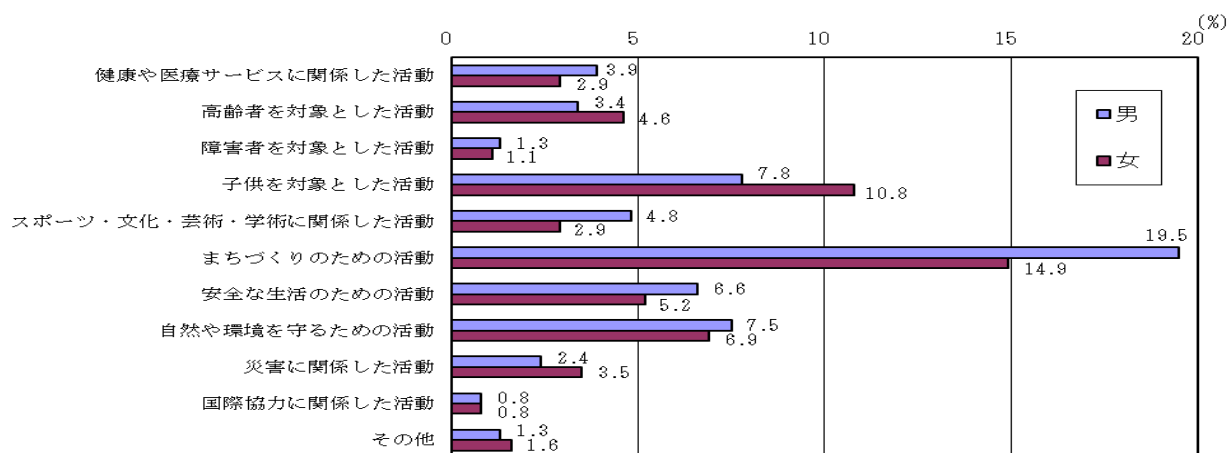


図2-2 「ボランティア活動」の種類、男女別行動者率(平成23年)



3 スポーツ

○行動者率は全体的に低下傾向。「登山・ハイキング」、「サイクリング」などはわずかに上昇

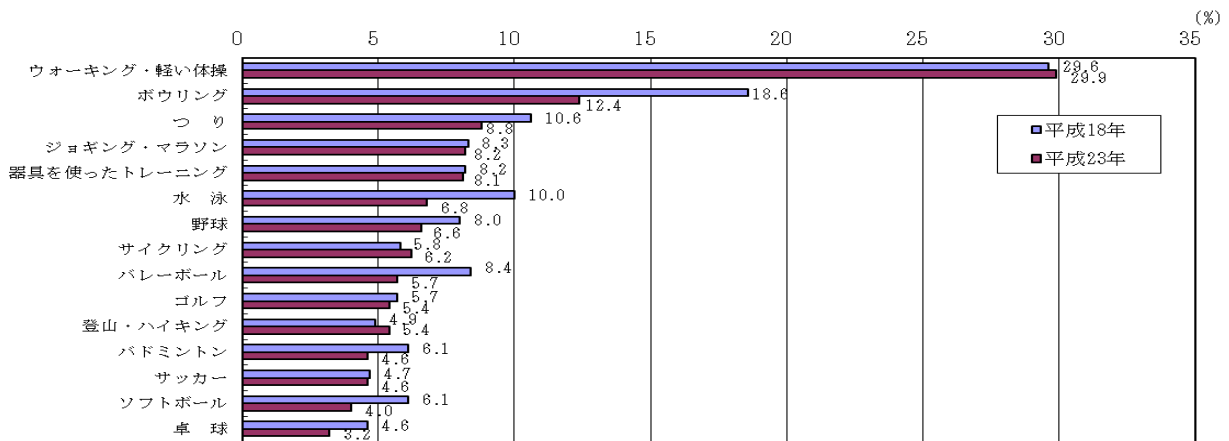
過去1年間に何らかの「スポーツ」を行った人は42万7千人で、行動者率は57.8%となっている。全国平均(63.0%)と比べると5.2ポイント低く、全国順位は37位となっている。男女別にみると、男性は64.9%、女性は51.6%で、男性が女性より13.3ポイント高くなっている。

行動者率を平成18年(総数:61.2%、男性:67.8%、女性:55.4%)と比較すると3.4ポイント低下している。男女別にみると、男性が2.9ポイント、女性が3.8ポイント低下している。

行動者率を種類別にみると、「ウォーキング・軽い体操」が29.9%と最も高く、次いで「ボウリング」が12.4%などとなっている。これを平成18年と比べると、「ボウリング」が6.2ポイント低下するなど、ほとんどの種類で低下している。一方、「登山・ハイキング」、「サイクリング」、「ウォーキング・軽い体操」は、それぞれ0.5ポイント、0.4ポイント、0.3ポイントとわずかに上昇している。(図3-1)

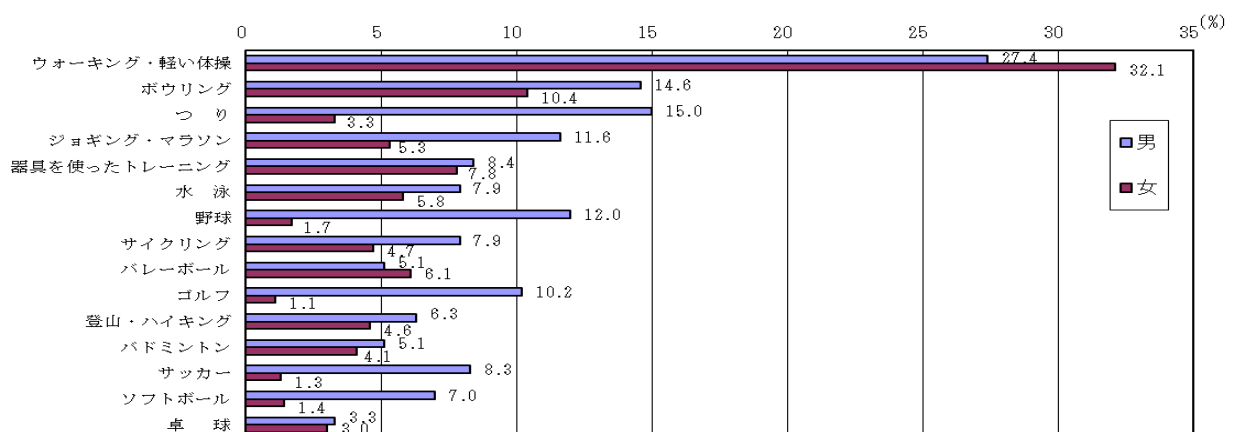
男女別にみると、男女ともに「ウォーキング・軽い体操」が最も高く、次いで男性は「つり」、女性は「ボウリング」などとなっている。(図3-2)

図3-1 「スポーツ」の種類別行動者率(平成18年、23年)



注) 行動者率が3%以上の種類を表章。

図3-2 「スポーツ」の種類、男女別行動者率(平成23年)



注) 行動者率が3%以上の種類を表章。

4 趣味・娯楽

○行動者率は全体的に低下傾向。「写真の撮影・プリント」、「美術鑑賞」などはわずかに上昇

過去1年間に何らかの「趣味・娯楽」を行った人は59万6千人で、行動者率は80.8%となっている。全国平均（84.8%）と比べると4ポイント低く、全国順位は33位となっている。男女別にみると、男性は80.7%、女性は80.8%で、女性が男性より0.1ポイント高くなっている。

行動者率を平成18年（総数：81.0%、男性：80.7%、女性：81.2%）と比較すると0.2ポイント低下している。男女別にみると、男性は増減がなく、女性が0.4ポイント低下している。

行動者率を種類別にみると、「CDなどによる音楽鑑賞」が41.9%と最も高く、次いで「DVDなどによる映画鑑賞」が35.2%などとなっている。これを平成18年と比べると、「映画鑑賞」が6ポイント低下、「DVDなどによる映画鑑賞」が5ポイント低下などとなっており、ほとんどの種類で低下している。一方、「写真の撮影・プリント」、「美術鑑賞」、「テレビゲーム・パソコンゲーム」、「ポピュラー音楽・歌謡曲鑑賞」は、それぞれ0.8ポイント、0.8ポイント、0.7ポイント、0.6ポイントとわずかに上昇している。（図4-1）

男女別にみると、男女ともに「CDなどによる音楽鑑賞」が最も高く、次いで「DVDなどによる映画鑑賞」などとなっている。（図4-2）

図4-1 「趣味・娯楽」の種類別行動者率（平成18年、23年）

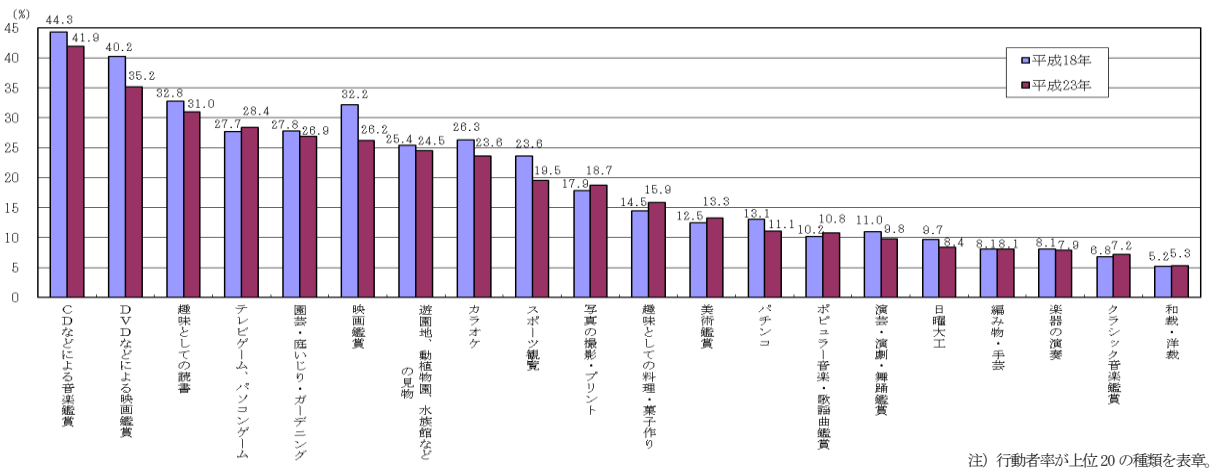
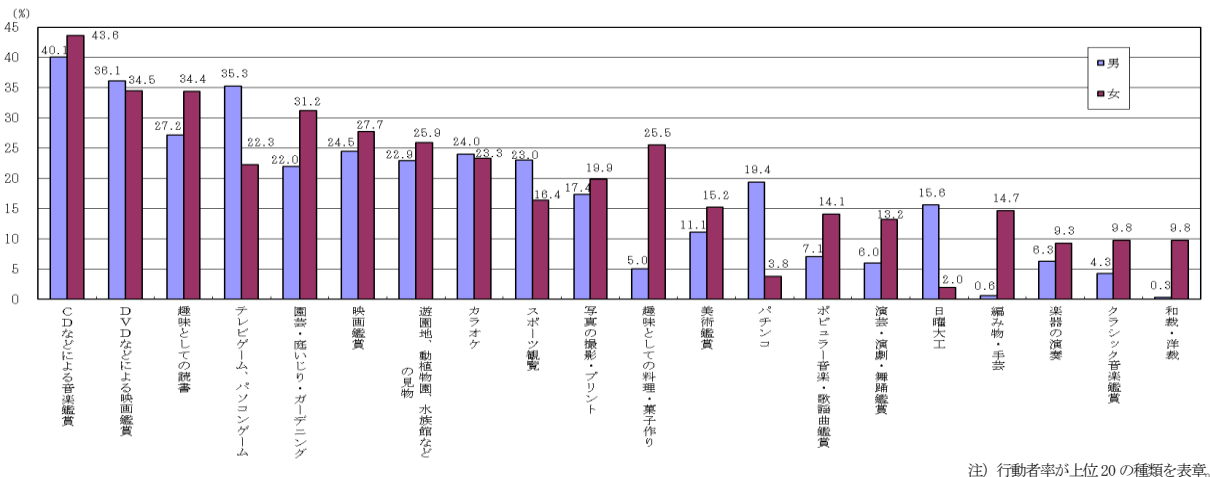


図4-2 「趣味・娯楽」の種類、男女別行動者率（平成23年）



5 旅行・行楽

○行動者率は68.4%で5年前より1.9ポイント低下

過去1年間に何らかの「旅行・行楽」を行った人は50万5千人で、行動者率は68.4%となっている。全国平均(73.2%)と比べると4.8ポイント低く、全国順位は33位となっている。男女別にみると、男性は65.7%、女性は70.9%で、女性が男性より5.2ポイント高くなっている。

行動者率を平成18年(総数:70.3%、男性:68.8%、女性:71.6%)と比較すると1.9ポイント低下している。男女別にみると、男性が3.1ポイント、女性が0.7ポイント減少している。

行動者率を種類別にみると、「行楽(日帰り)」が57.4%と最も高く、次いで「観光旅行(国内)」が39.8%などとなっている。これを平成18年と比べると、「行楽(日帰り)」が2.1ポイント、「観光旅行(海外)」が0.1ポイント上昇している以外は、すべての種類で低下している。(図5-1)

男女別にみると、男女ともに「行楽(日帰り)」が最も高く、次いで「観光旅行(国内)」などとなっており、国内及び海外の「業務出張・研修・その他」を除き、全ての種類で女性のほうが高くなっている。(図5-2)

図5-1 「旅行・行楽」の種類別行動者率(平成18年、23年)

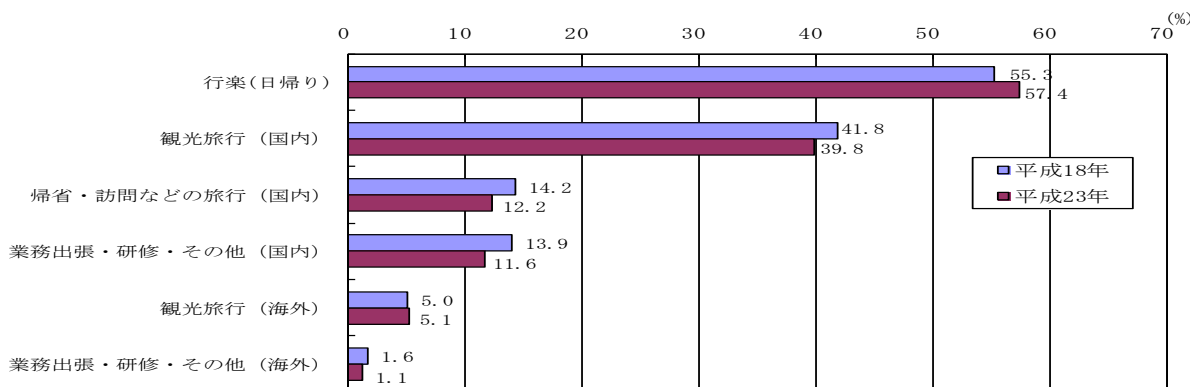
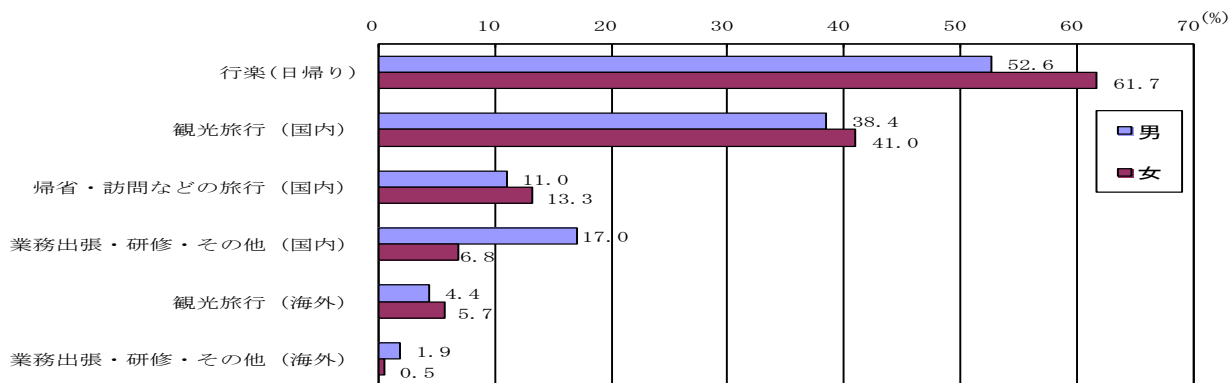


図5-2 「旅行・行楽」の種類、男女別行動者率(平成23年)



Ⅱ 生活時間に関する結果

1 1日の生活時間

○睡眠や食事などの1次活動時間及び自由時間などの3次活動時間は増加、仕事や家事などの2次活動時間は減少

佐賀県に住んでいる10歳以上の人について、1日の生活時間（週全体平均。以下「週全体」という。）をみると、1次活動時間が10時間40分、2次活動時間が6時間52分、3次活動時間が6時間28分となっている。

平成18年と比べると、1次活動時間は7分の増加、2次活動時間は17分の減少、3次活動時間は9分の増加となっている。

全国と比べると、1次活動時間は同じで、2次活動時間は1分短く、3次活動時間は1分長くなっている。

男女別にみると、男性は1次活動時間が10時間38分、2次活動時間が6時間32分、3次活動時間が6時間50分、女性は1次活動時間が10時間42分、2次活動時間が7時間9分、3次活動時間が6時間9分となっており、1次活動時間及び2次活動時間は女性が長く、3次活動時間は男性が長くなっている。

平成18年と比べると、男性は1次活動時間が11分の増加、2次活動時間が34分の減少、3次活動時間が23分の増加、女性は1次活動時間が5分の増加、2次活動時間が2分の減少、3次活動時間が3分の減少となっている。（表1-1、表1-2）

年齢階級別にみると、1次活動時間は、男性は35～44歳（9時間56分）、女性は45～54歳（9時間42分）が最も短く、男女ともに75歳以上で長くなっている。

2次活動時間は、男女ともに35～44歳（男性：8時間52分、女性：9時間38分）が最も長く、これより年齢階級が低くなるほど及び高くなるほど短くなる傾向となっている。

3次活動時間は、男女ともに35～44歳（男性：5時間12分、女性：4時間36分）が最も長く、これより年齢階級が低くなるほど及び高くなるほど長くなる傾向となっている。（図1-1、図1-2）

表1-1 男女、行動の種類別生活時間（平成18年、23年）一週全体

（単位：時間、分）

佐賀県	総数			男			女			男女差
	平成18年	平成23年	増減	平成18年	平成23年	増減	平成18年	平成23年	増減	平成23年
1次活動	10.33	10.40	0.07	10.27	10.38	0.11	10.37	10.42	0.05	-0.04
2次活動	7.09	6.52	-0.17	7.06	6.32	-0.34	7.11	7.09	-0.02	-0.37
3次活動	6.19	6.28	0.09	6.27	6.50	0.23	6.12	6.09	-0.03	0.41
全 国										
1次活動	10.37	10.40	0.03	10.31	10.33	0.02	10.42	10.46	0.04	-0.13
2次活動	7.00	6.53	-0.07	6.58	6.49	-0.09	7.03	6.57	-0.06	-0.08
3次活動	6.23	6.27	0.04	6.31	6.38	0.07	6.15	6.16	0.01	0.22

注) 1次活動・・・睡眠、食事など生理的に必要な活動

2次活動・・・仕事、家事など社会生活を営む上で義務的な性格の強い活動

3次活動・・・1次活動、2次活動以外で各人が自由に使える時間における活動

表1-2 男女、行動の種類別生活時間（平成18年、23年）一週全体

(単位：時間、分)

	総数			男			女		
	平成18年	平成23年	増減	平成18年	平成23年	増減	平成18年	平成23年	増減
1次活動	10.33	10.40	0.07	10.27	10.38	0.11	10.37	10.42	0.05
睡眠	7.45	7.47	0.02	7.53	7.58	0.05	7.37	7.38	0.01
身の回りの用事	1.13	1.20	0.07	1.03	1.10	0.07	1.22	1.28	0.06
食事	1.35	1.33	-0.02	1.31	1.30	-0.01	1.38	1.36	-0.02
2次活動	7.09	6.52	-0.17	7.06	6.32	-0.34	7.11	7.09	-0.02
通勤・通学	0.24	0.25	0.01	0.31	0.30	-0.01	0.18	0.21	0.03
仕事	4.01	3.42	-0.19	5.17	4.41	-0.36	2.54	2.50	-0.04
学業	0.42	0.44	0.02	0.44	0.47	0.03	0.39	0.42	0.03
家事	1.26	1.23	-0.03	0.16	0.15	-0.01	2.27	2.24	-0.03
介護・看護	0.03	0.03	0.00	0.01	0.02	0.01	0.05	0.04	-0.01
育児	0.12	0.11	-0.01	0.04	0.04	0.00	0.20	0.17	-0.03
買い物	0.20	0.22	0.02	0.12	0.13	0.01	0.28	0.31	0.03
3次活動	6.19	6.28	0.09	6.27	6.50	0.23	6.12	6.09	-0.03
移動(通勤・通学を除く)	0.24	0.26	0.02	0.24	0.24	0.00	0.25	0.29	0.04
テレビ・ラジオ・新聞・雑誌	2.25	2.30	0.05	2.26	2.39	0.13	2.23	2.22	-0.01
休養・くつろぎ	1.28	1.33	0.05	1.26	1.32	0.06	1.30	1.33	0.03
学習・自己啓発・訓練(学業以外)1)	0.11	0.12	0.01	0.11	0.12	0.01	0.11	0.13	0.02
趣味・娯楽	0.35	0.37	0.02	0.42	0.47	0.05	0.30	0.27	-0.03
スポーツ	0.17	0.16	-0.01	0.22	0.23	0.01	0.12	0.10	-0.02
ボランティア活動・社会参加活動	0.05	0.05	0.00	0.05	0.06	0.01	0.05	0.05	0.00
交際・付き合い	0.23	0.20	-0.03	0.24	0.19	-0.05	0.22	0.21	-0.01
受診・療養	0.11	0.10	-0.01	0.09	0.08	-0.01	0.12	0.11	-0.01
その他	0.20	0.20	0.00	0.18	0.21	0.03	0.22	0.19	-0.03
(再掲)									
家事関連2)	2.01	1.59	-0.02	0.33	0.34	0.01	3.20	3.16	-0.04
休養等自由時間活動3)	3.53	4.03	0.10	3.52	4.11	0.19	3.53	3.55	0.02
積極的自由時間活動4)	1.08	1.10	0.02	1.20	1.28	0.08	0.58	0.55	-0.03

1)平成18年の調査項目名は「学習・研究(学業以外)」

2)家事、介護・看護、育児及び買い物

3)テレビ・ラジオ・新聞・雑誌及び休養・くつろぎ

4)学習・自己啓発・訓練(学業以外)、趣味・娯楽、スポーツ及びボランティア活動・社会参加活動

図1-1 年齢階級、行動の種類別生活時間
(平成23年)一週全体、男

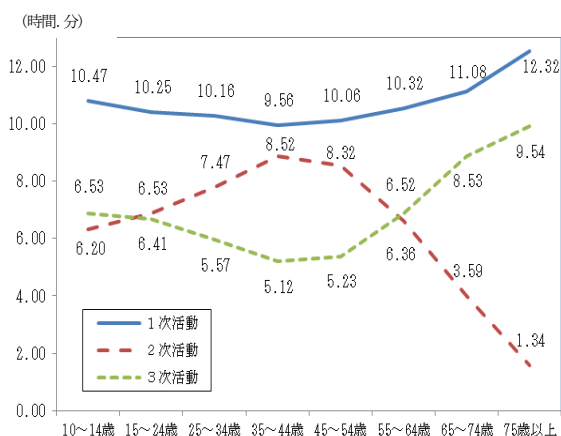
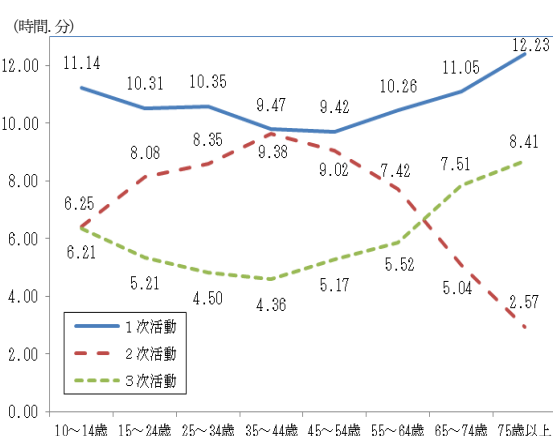


図1-2 年齢階級、行動の種類別生活時間
(平成23年)一週全体、女



2 1次活動

(1) 睡眠時間

○男性の睡眠時間は女性より20分長く、男女ともに45～54歳で最も短い

週全体の睡眠時間は7時間47分で、男性は7時間58分、女性は7時間38分で男性が20分長くなっている。

年齢階級別にみると、45～54歳が7時間8分と最も短く、次いで35～44歳が7時間13分などになっており、75歳以上が9時間4分と最も長くなっている。

これを男女別にみると、10～14歳を除くすべての年齢階級で男性が長くなっている。男女ともに45～54歳が最も短くなっており、女性は男性より37分短く6時間50分となっている。

平成18年と比べると2分増加しており、15～34歳、45～64歳、75歳以上で増加している。

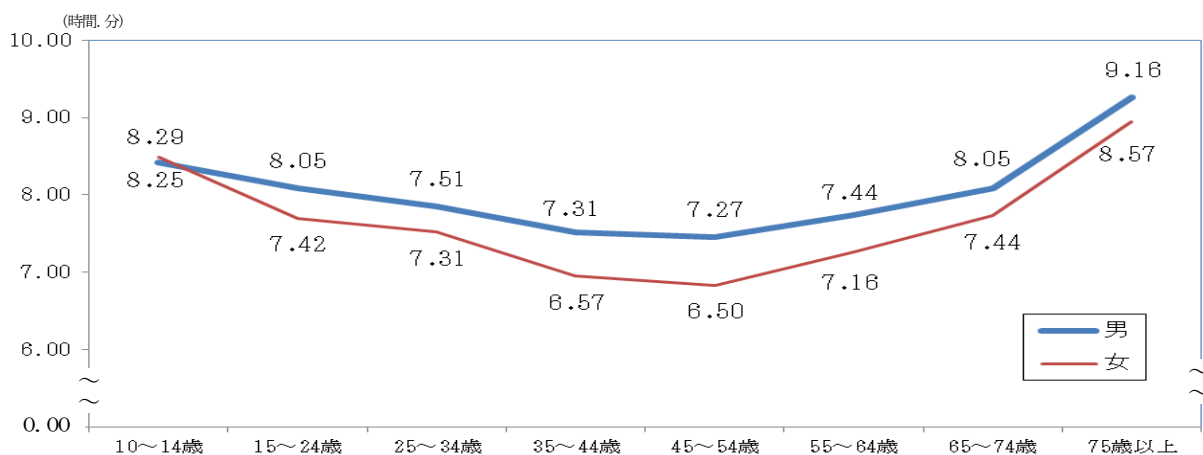
全国と比べると5分長く、男女別にみると、男性は9分、女性は2分長くなっている。(表2-1、図2-1)

表2-1 男女、年齢階級別睡眠時間(平成18年、23年)一週全体

(単位:時間、分)

佐賀県	総数			男			女			男女差
	平成18年	平成23年	増減	平成18年	平成23年	増減	平成18年	平成23年	増減	平成23年
総数	7.45	7.47	0.02	7.53	7.58	0.05	7.37	7.38	0.01	0.20
10～14歳	8.37	8.27	-0.10	8.35	8.25	-0.10	8.39	8.29	-0.10	-0.04
15～24歳	7.46	7.53	0.07	7.49	8.05	0.16	7.43	7.42	-0.01	0.23
25～34歳	7.33	7.41	0.08	7.35	7.51	0.16	7.31	7.31	0.00	0.20
35～44歳	7.19	7.13	-0.06	7.34	7.31	-0.03	7.06	6.57	-0.09	0.34
45～54歳	7.03	7.08	0.05	7.17	7.27	0.10	6.49	6.50	0.01	0.37
55～64歳	7.24	7.30	0.06	7.37	7.44	0.07	7.13	7.16	0.03	0.28
65～74歳	8.09	7.54	-0.15	8.27	8.05	-0.22	7.54	7.44	-0.10	0.21
75歳以上	8.56	9.04	0.08	9.16	9.16	0.00	8.45	8.57	0.12	0.19
全国	7.42	7.42	0.00	7.49	7.49	0.00	7.35	7.36	0.01	0.13

図2-1 男女、年齢階級別睡眠時間(平成23年)一週全体



(2) 食事時間

○食事時間は15～24歳で最も短く、高齢層で長い

週全体の食事時間は1時間33分で、男性は1時間30分、女性は1時間36分で女性が6分長くなっている。

年齢階級別にみると、15～24歳が1時間16分と最も短く、次いで35～44歳が1時間23分などとなっており、65～74歳が1時間54分と最も長くなっている。

これを男女別にみると、15～74歳で女性が長く、特に25～34歳で男性より12分長くなっている。一方、10～14歳、75歳以上では、男性が女性より長くなっている。

平成18年と比べると2分減少しており、15～24歳、35～64歳、75歳以上で減少している。

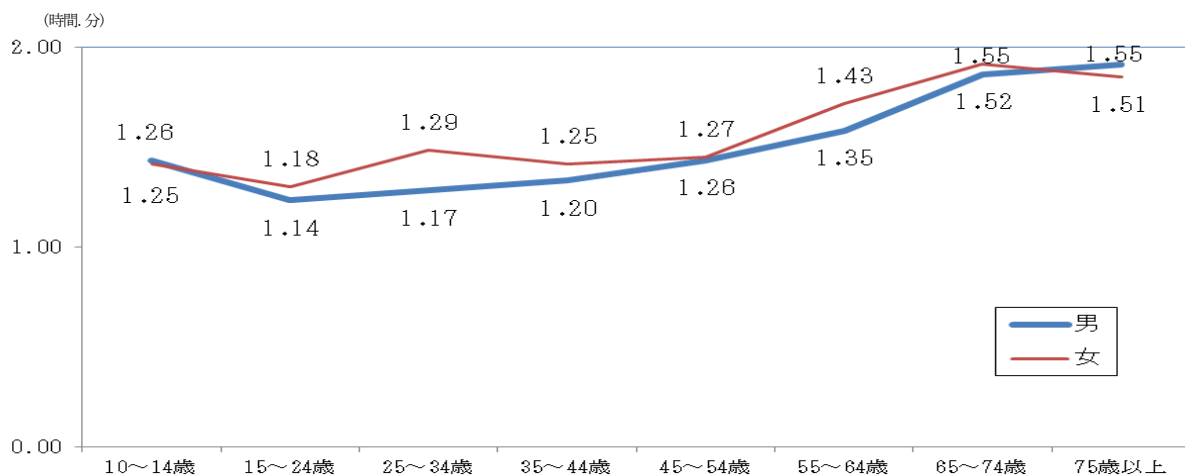
全国と比べると6分短く、男女別にみると、男女ともに6分短くなっている。(表2-2、図2-2)

表2-2 男女、年齢階級別食事時間(平成18年、23年)一週全体

(単位:時間、分)

佐賀県	総数			男			女			男女差
	平成18年	平成23年	増減	平成18年	平成23年	増減	平成18年	平成23年	増減	平成23年
総数	1.35	1.33	-0.02	1.31	1.30	-0.01	1.38	1.36	-0.02	-0.06
10～14歳	1.25	1.26	0.01	1.21	1.26	0.05	1.30	1.25	-0.05	0.01
15～24歳	1.22	1.16	-0.06	1.19	1.14	-0.05	1.24	1.18	-0.06	-0.04
25～34歳	1.22	1.24	0.02	1.18	1.17	-0.01	1.25	1.29	0.04	-0.12
35～44歳	1.29	1.23	-0.06	1.25	1.20	-0.05	1.33	1.25	-0.08	-0.05
45～54歳	1.31	1.27	-0.04	1.28	1.26	-0.02	1.34	1.27	-0.07	-0.01
55～64歳	1.41	1.39	-0.02	1.38	1.35	-0.03	1.43	1.43	0.00	-0.08
65～74歳	1.52	1.54	0.02	1.50	1.52	0.02	1.53	1.55	0.02	-0.03
75歳以上	1.53	1.52	-0.01	1.50	1.55	0.05	1.55	1.51	-0.04	0.04
全国	1.39	1.39	0.00	1.36	1.36	0.00	1.42	1.42	0.00	-0.06

図2-2 男女、年齢階級別食事時間(平成23年)一週全体



3 2次活動

(1) 仕事時間（有業者）

○仕事時間は男性は35～44歳、女性は15～24歳で最も長い

有業者（15歳以上。以下同じ。）の週全体の仕事時間は6時間16分で、男性は7時間1分、女性は5時間24分となっている。

年齢階級別にみると、35～44歳が7時間2分と最も長く、次いで25～34歳が6時間40分などとなっている。

これを男女別にみると、男性は35～44歳が7時間52分と最も長く、女性は15～24歳が6時間25分と最も長くなっている。

平成18年と比べると16分減少しており、男性は32分の減少、女性は3分の増加となっている。年齢階級別にみると、15～24歳、35～44歳を除く年齢階級で減少している。男女別にみると、男性はすべての年齢階級で減少し、女性は15～24歳、35～44歳、75歳以上を除く年齢階級で減少している。

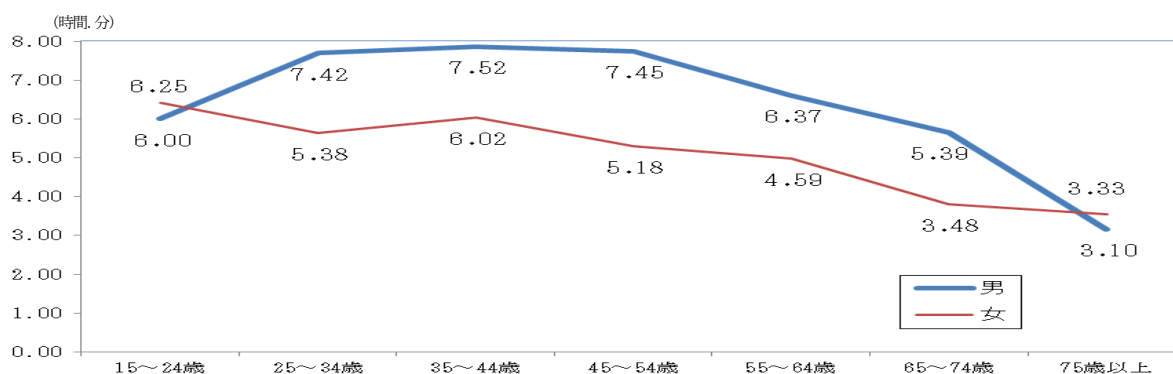
全国と比べると14分長く、男女別にみると、男性は5分、女性は34分長くなっている。（表3-1、図3-1）

表3-1 男女、年齢階級別仕事時間（平成18年、23年）一週全体、有業者

（単位：時間、分）

佐賀県	総数			男			女			男女差
	平成18年	平成23年	増減	平成18年	平成23年	増減	平成18年	平成23年	増減	平成23年
総数	6.32	6.16	-0.16	7.33	7.01	-0.32	5.21	5.24	0.03	1.37
15～24歳	5.57	6.15	0.18	6.58	6.00	-0.58	4.51	6.25	1.34	-0.25
25～34歳	7.08	6.40	-0.28	7.59	7.42	-0.17	6.08	5.38	-0.30	2.04
35～44歳	6.45	7.02	0.17	8.12	7.52	-0.20	5.09	6.02	0.53	1.50
45～54歳	6.57	6.32	-0.25	8.08	7.45	-0.23	5.37	5.18	-0.19	2.27
55～64歳	6.39	5.51	-0.48	7.31	6.37	-0.54	5.35	4.59	-0.36	1.38
65～74歳	5.08	4.54	-0.14	5.54	5.39	-0.15	4.18	3.48	-0.30	1.51
75歳以上	4.10	3.17	-0.53	5.05	3.10	-1.55	3.12	3.33	0.21	-0.23
全国	6.09	6.02	-0.07	7.00	6.56	-0.04	5.00	4.50	-0.10	2.06

図3-1 男女、年齢階級別仕事時間（平成23年）一週全体、有業者



(2) 家事関連時間

○家事関連時間は男性が34分、女性は3時間16分と男女の間に依然として大きな差が見られる

週全体の家事関連時間は1時間59分で、男性は34分、女性は3時間16分となっており、女性が2時間42分長くなっている。平成18年の男女差（2時間47分）より5分縮小しているが、男女の間に依然として大きな差が見られる。

年齢階級別にみると、65～74歳が2時間36分と最も長く、次いで35～44歳が2時間29分などとなっている。

これを男女別にみると、男性は65～74歳が57分と最も長くなっている。一方、女性は35～64歳で4時間以上と長く、特に35～44歳が4時間20分と最も長くなっている。

平成18年と比べると2分減少しており、男性は1分の増加、女性は4分の減少となっている。

年齢階級別にみると、10～24歳、45～64歳を除く年齢階級で減少している。男女別にみると、男性は10～14歳、35～64歳で増加し、女性は10～14歳、75歳以上を除く年齢階級で減少している。

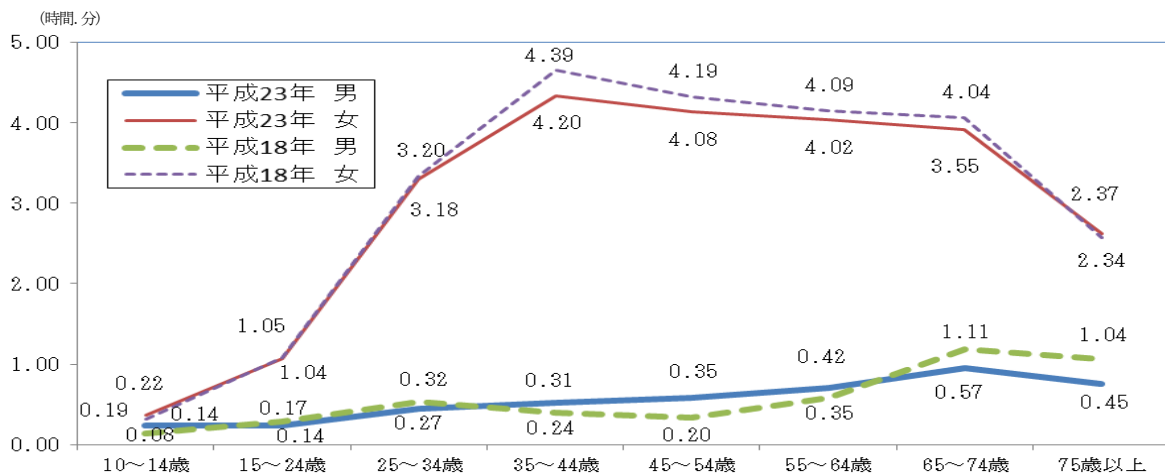
全国と比べると11分短く、男女別にみると、男性は8分、女性は19分短くなっている。（表3-2、図3-2）

表3-2 男女、年齢階級別家事関連時間（平成18年、23年）一週全体

（単位：時間、分）

佐賀県	総数			男			女			男女差	
	平成18年	平成23年	増減	平成18年	平成23年	増減	平成18年	平成23年	増減	平成18年	平成23年
総数	2.01	1.59	-0.02	0.33	0.34	0.01	3.20	3.16	-0.04	-2.47	-2.42
10～14歳	0.13	0.18	0.05	0.08	0.14	0.06	0.19	0.22	0.03	-0.11	-0.08
15～24歳	0.41	0.41	0.00	0.17	0.14	-0.03	1.05	1.04	-0.01	-0.48	-0.50
25～34歳	1.57	1.54	-0.03	0.32	0.27	-0.05	3.20	3.18	-0.02	-2.48	-2.51
35～44歳	2.36	2.29	-0.07	0.24	0.31	0.07	4.39	4.20	-0.19	-4.15	-3.49
45～54歳	2.23	2.24	0.01	0.20	0.35	0.15	4.19	4.08	-0.11	-3.59	-3.33
55～64歳	2.25	2.25	0.00	0.35	0.42	0.07	4.09	4.02	-0.07	-3.34	-3.20
65～74歳	2.48	2.36	-0.12	1.11	0.57	-0.14	4.04	3.55	-0.09	-2.53	-2.58
75歳以上	2.02	1.56	-0.06	1.04	0.45	-0.19	2.34	2.37	0.03	-1.30	-1.52
全国	2.08	2.10	0.02	0.38	0.42	0.04	3.35	3.35	0.00	-2.57	-2.53

図3-2 男女、年齢階級別家事関連時間（平成23年）一週全体



4 3次活動

(1) 休養等自由時間活動

○休養等自由時間活動の時間は男女ともに75歳以上が最も長く、15～74歳でおおむね増加

週全体の休養等自由時間活動の時間は4時間3分で、男性は4時間11分、女性は3時間55分で男性が16分長くなっている。

男女、年齢階級別にみると、男女ともに75歳以上が最も長く、男性は6時間34分、女性は6時間19分となっている。また、男性は10～14歳が3時間10分、女性は35～44歳が2時間48分で最も短くなっている。特に65～74歳では男性が49分長く、女性と大きな差が見られる。

平成18年と比べると10分増加しており、「テレビ・ラジオ・新聞・雑誌」、「休養・くつろぎ」の時間はそれぞれ5分増加している。男女別にみると、男性は19分、女性は2分の増加となっている。年齢階級別にみると、15～74歳でおおむね増加している。

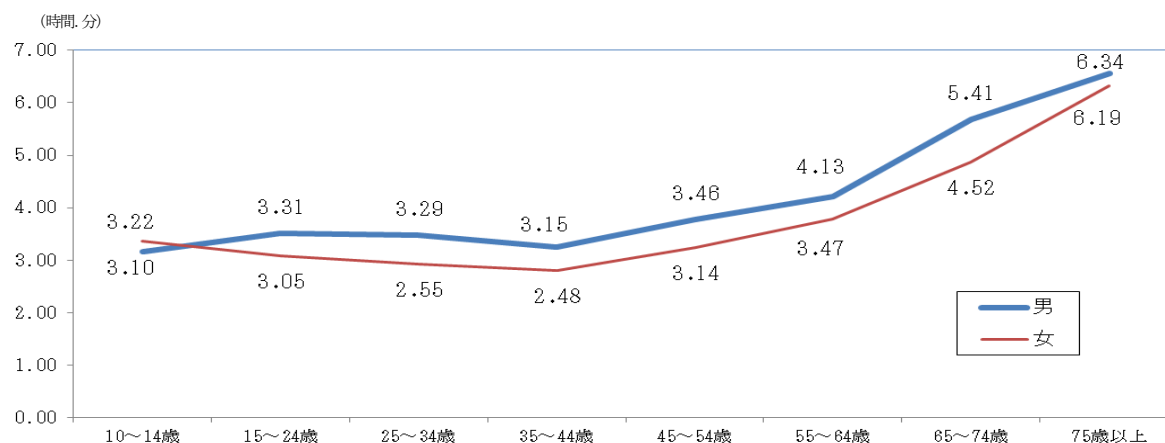
全国と比べると5分長く、男女別にみると、男性は9分長く、女性は同じになっている。(表4-1、図4-1)

表4-1 男女、年齢階級別休養等自由時間活動(平成18年、23年)一週全体

(単位:時間.分)

佐賀県	総数			男			女			男女差 平成23年
	平成18年	平成23年	増減	平成18年	平成23年	増減	平成18年	平成23年	増減	
休養等自由時間活動	3.53	4.03	0.10	3.52	4.11	0.19	3.53	3.55	0.02	0.16
テレビ・ラジオ・新聞・雑誌	2.25	2.30	0.05	2.26	2.39	0.13	2.23	2.22	-0.01	0.17
休養・くつろぎ	1.28	1.33	0.05	1.26	1.32	0.06	1.30	1.33	0.03	-0.01
全 国	3.49	3.58	0.09	3.51	4.02	0.11	3.47	3.55	0.08	0.07
10～14歳	3.27	3.16	-0.11	3.18	3.10	-0.08	3.36	3.22	-0.14	-0.12
15～24歳	3.15	3.18	0.03	2.55	3.31	0.36	3.33	3.05	-0.28	0.26
25～34歳	2.51	3.12	0.21	2.48	3.29	0.41	2.55	2.55	0.00	0.34
35～44歳	2.53	3.01	0.08	3.03	3.15	0.12	2.45	2.48	0.03	0.27
45～54歳	3.28	3.29	0.01	3.39	3.46	0.07	3.18	3.14	-0.04	0.32
55～64歳	3.56	4.00	0.04	4.00	4.13	0.13	3.51	3.47	-0.04	0.26
65～74歳	4.55	5.14	0.19	5.28	5.41	0.13	4.29	4.52	0.23	0.49
75歳以上	6.27	6.25	-0.02	6.35	6.34	-0.01	6.22	6.19	-0.03	0.15

図4-1 男女、年齢階級別休養等自由時間活動(平成23年)一週全体



(2) 積極的自由時間活動

○積極的自由時間活動の時間は男性が女性より長い

週全体の積極的自由時間活動の時間は1時間10分で、男性は1時間28分、女性は55分で男性が33分長くなっている。

男女、年齢階級別にみると、男女ともに10～14歳が最も長く、男性は2時間54分、女性は2時間11分となっている。また、男女ともに45～54歳が最も短く、男性は49分、女性は37分となっている。すべての年齢階級で男性が女性より長くなっている。

平成18年と比べると2分増加しており、「学習・自己啓発・訓練(学業以外)」は1分の増加、「趣味・娯楽」は2分の増加、「スポーツ」は1分の減少、「ボランティア活動・社会参加活動」は横ばいとなっている。

年齢階級別にみると、男女ともに15～24歳で大幅に減少し、男性は34分、女性は18分の減少となっている。一方、65歳以上の男性が大幅に増加しており、65～74歳が26分、75歳以上が39分増加している。

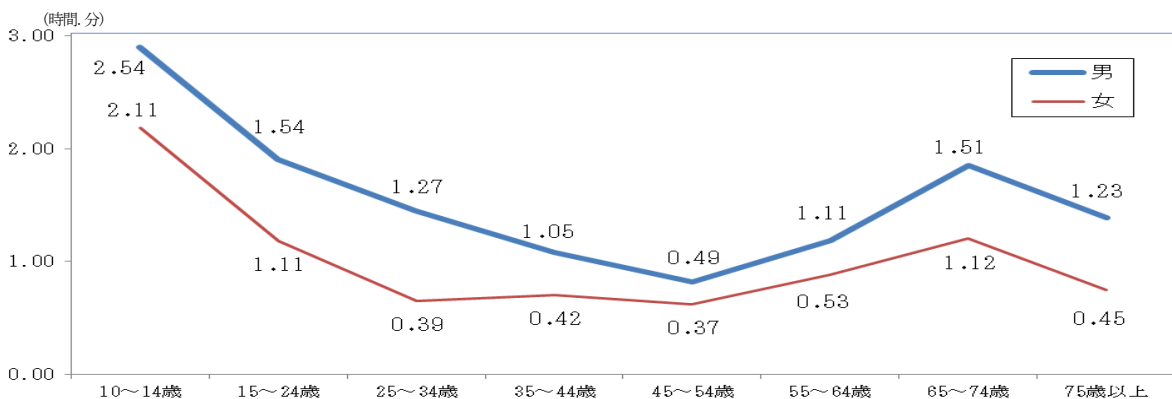
全国と比べると4分短く、男女別にみると、男性は同じで、女性は9分短くなっている。(表4-2、図4-2)

表4-2 男女、年齢階級別積極的自由時間活動(平成18年、23年)一週全体

(単位: 時間. 分)

佐賀県	総数			男			女			男女差 平成23年
	平成18年	平成23年	増減	平成18年	平成23年	増減	平成18年	平成23年	増減	
積極的自由時間活動	1.08	1.10	0.02	1.20	1.28	0.08	0.58	0.55	-0.03	0.33
学習・自己啓発・訓練(学業以外)	0.11	0.12	0.01	0.11	0.12	0.01	0.11	0.13	0.02	-0.01
趣味・娯楽	0.35	0.37	0.02	0.42	0.47	0.05	0.30	0.27	-0.03	0.20
スポーツ	0.17	0.16	-0.01	0.22	0.23	0.01	0.12	0.10	-0.02	0.13
ボランティア活動・社会参加活動	0.05	0.05	0.00	0.05	0.06	0.01	0.05	0.05	0.00	0.01
全国	1.17	1.14	-0.03	1.28	1.28	0.00	1.06	1.04	-0.02	0.24
10～14歳	2.34	2.33	-0.01	2.59	2.54	-0.05	2.10	2.11	0.01	0.43
15～24歳	1.58	1.32	-0.26	2.28	1.54	-0.34	1.29	1.11	-0.18	0.43
25～34歳	1.01	1.03	0.02	1.11	1.27	0.16	0.50	0.39	-0.11	0.48
35～44歳	0.47	0.51	0.04	0.53	1.05	0.12	0.44	0.42	-0.02	0.23
45～54歳	0.44	0.42	-0.02	0.48	0.49	0.01	0.41	0.37	-0.04	0.12
55～64歳	0.54	1.01	0.07	1.03	1.11	0.08	0.46	0.53	0.07	0.18
65～74歳	1.17	1.31	0.14	1.25	1.51	0.26	1.10	1.12	0.02	0.39
75歳以上	0.45	1.00	0.15	0.44	1.23	0.39	0.45	0.45	0.00	0.38

図4-2 男女、年齢階級別積極的自由時間活動(平成23年)一週全体



5 各種属性別にみた生活時間

(1) 夫と妻の生活時間

○共働きか否かにより、妻の生活時間は大きな差がみられる

夫婦と子供の世帯（「夫婦と子供の世帯」、「夫婦、子供と両親の世帯」及び「夫婦、子供とひとり親の世帯」）のうち、「共働き世帯」（夫も妻も有業の世帯。以下同じ。）及び「夫が有業で妻が無業の世帯」について、夫と妻の生活時間をみると、「共働き世帯」の夫は1次活動時間が10時間7分、2次活動時間が8時間34分、3次活動時間が5時間20分で、「夫が有業で妻が無業の世帯」の夫に比べ、1次活動時間は34分短く、2次活動時間は3分、3次活動時間は32分長くなっている。

「共働き世帯」の妻は1次活動時間が9時間40分、2次活動時間が9時間59分、3次活動時間が4時間20分で、「夫が有業で妻が無業の世帯」の妻に比べ、1次活動時間は30分、3次活動時間は1時間46分短く、2次活動時間は2時間15分長くなっており、妻の生活時間は共働きか否かにより大きな差がみられる。

また、育児時間をみると、「共働き世帯」の夫は10分、「夫が有業で妻が無業の世帯」の夫は12分で、「夫が有業で妻が無業の世帯」の夫が2分長くなっている。一方、「共働き世帯」の妻の育児時間は35分、「夫が有業で妻が無業の世帯」の妻は1時間51分で、「夫が有業で妻が無業の世帯」の妻が1時間16分長くなっている。これを末子の年齢階級別にみると、「共働き世帯」、「夫が有業で妻が無業の世帯」の夫と妻ともに、末子の年齢階級が低くなるほど長くなる傾向となっており、特に末子が0歳が最も長くなっている。（表5-1）

表5-1 末子の年齢階級、共働きか否か別生活時間（平成23年）一週全体、夫婦と子供の世帯の夫・妻

（単位：時間、分）

末子の年齢階級	共働き世帯						夫が有業で妻が無業の世帯						
	1次活動	2次活動	仕事等	家事関連	うち育児	3次活動	1次活動	2次活動	仕事等	家事関連	うち育児	3次活動	
夫	総数	10.07	8.34	7.58	0.37	0.10	5.20	10.41	8.31	7.56	0.35	0.12	4.48
	0歳	11.11	8.08	7.13	0.55	0.43	4.40	11.37	9.56	9.01	0.53	0.32	2.27
	1～2歳	9.51	9.48	8.38	1.10	0.30	4.21	10.58	8.38	8.10	0.28	0.15	4.24
	3～5歳	10.28	8.19	7.25	0.54	0.13	5.13	11.27	8.58	8.04	0.54	0.31	3.35
	6～11歳	9.38	8.37	8.06	0.31	0.09	5.45	10.57	7.52	7.10	0.43	0.06	5.11
	12～14歳	9.51	8.54	8.41	0.13	-	5.15	9.33	9.20	8.57	0.23	0.15	5.07
	15～17歳	9.48	9.06	8.36	0.30	0.01	5.05
	18歳以上	10.32	7.52	7.29	0.22	0.02	5.36	10.30	7.40	7.13	0.26	-	5.50
妻	総数	9.40	9.59	5.29	4.31	0.35	4.20	10.10	7.44	0.08	7.35	1.51	6.06
	0歳	9.33	9.32	1.24	8.08	5.49	4.54	9.52	9.47	0.00	9.46	6.13	4.21
	1～2歳	10.33	10.32	4.56	5.37	1.49	2.55	10.56	9.24	0.01	9.24	5.19	3.39
	3～5歳	9.56	10.15	6.21	3.54	0.52	3.49	9.32	7.51	0.01	7.49	3.29	6.37
	6～11歳	9.12	10.31	5.55	4.36	0.23	4.17	9.27	8.22	0.10	8.12	0.28	6.11
	12～14歳	9.16	10.33	6.37	3.56	0.08	4.11	9.42	7.35	0.27	7.09	0.06	6.43
	15～17歳	9.21	10.14	5.01	5.15	0.01	4.25
	18歳以上	9.44	9.11	5.17	3.55	0.03	5.05	10.15	6.42	0.12	6.29	0.07	7.03

注) 表中「-」は、該当の行動者が皆無の場合及び同値の人口や標本数が連続するため省略している箇所。

表中「...」は、当該属性の標本数が皆無の場合及び標本数が10未満で、結果精度の観点から表章していない箇所。

6 主な行動の平均時刻

(1) 起床・就寝時刻、朝食・夕食開始時刻

○平日の起床・就寝時刻、朝食・夕食開始の平均時刻は全国平均より早い

平均起床時刻を曜日別にみると、平日が6時28分、土曜日が6時59分、日曜日が7時14分となっており、平日に比べ土曜日は31分、日曜日は46分遅くなっている。全国平均と比べると、平日は9分、土曜日は9分、日曜日は3分早くなっている。男女別にみると、すべての曜日で女性が男性より早くなっている。

平均起床時刻の全国順位は14位で、最も早い青森県との差は9分となっている。

平均朝食開始時刻を曜日別にみると、平日が7時8分、土曜日が7時26分、日曜日が7時40分となっており、平日に比べ土曜日は18分遅く、日曜日は32分遅くなっている。全国平均と比べると、平日は2分、土曜日は7分、日曜日は1分早くなっている。男女別にみると、すべての曜日で男性が女性より早くなっている。

平均朝食開始時刻の全国順位は23位で、最も早い静岡県との差は10分となっている。

平均夕食開始時刻を曜日別にみると、平日が19時2分、土曜日が18時47分、日曜日が18時43分となっており、平日に比べ土曜日は15分、日曜日は19分早くなっている。全国平均と比べると、平日は4分、土曜日は4分、日曜日は1分早くなっている。男女別にみると、平日及び土曜日は女性が男性より早く、日曜日は男性が女性より早くなっている。

平均夕食開始時刻の全国順位は27位で、最も早い青森県との差は23分となっている。

平均就寝時刻を曜日別にみると、平日が23時4分、土曜日が23時5分、日曜日が22時59分となっており、平日に比べ土曜日は1分遅く、日曜日は5分早くなっている。全国平均と比べると、平日は11分、土曜日は12分、日曜日は7分早くなっている。男女別にみると、すべての曜日で男性が女性より遅くなっている。

平均就寝時刻の全国順位は27位で、最も早い青森県との差は29分となっている。
(表6-1、6-2)

表6-1 男女、曜日別、起床・就寝及び朝食・夕食開始の平均時刻（平成23年）

（単位：時間）

佐賀県		起床	朝食開始	夕食開始	就寝
総数	平日	6:28	7:08	19:02	23:04
	土曜日	6:59	7:26	18:47	23:05
	日曜日	7:14	7:40	18:43	22:59
男	平日	6:35	7:02	19:12	23:05
	土曜日	7:13	7:25	18:53	23:07
	日曜日	7:22	7:39	18:42	23:04
女	平日	6:23	7:12	18:53	23:03
	土曜日	6:46	7:26	18:43	23:02
	日曜日	7:06	7:40	18:44	22:54
全国					
総数	平日	6:37	7:10	19:06	23:15
	土曜日	7:08	7:33	18:51	23:17
	日曜日	7:17	7:41	18:44	23:06

表6-2 都道府県別、起床・就寝及び朝食・夕食開始の平均時刻（平成23年）—平日

起床			朝食開始			夕食開始			就寝		
順位	都道府県	平均時刻(時:分)	順位	都道府県	平均時刻(時:分)	順位	都道府県	平均時刻(時:分)	順位	都道府県	平均時刻(時:分)
	全国	6:37		全国	7:10		全国	19:06		全国	23:15
1	青森県	6:19	1	静岡県	6:58	1	青森県	18:39	1	青森県	22:35
2	岩手県	6:22	2	青森県	7:00	2	北海道	18:46	1	秋田県	22:35
2	新潟県	6:22	2	福島県	7:00	2	秋田県	18:46	3	山形県	22:43
2	島根県	6:22	23	埼玉県	7:08	4	和歌山県	18:48	4	岩手県	22:45
14	栃木県	6:28	23	滋賀県	7:08	27	富山県	19:02	5	福島県	22:47
14	広島県	6:28	23	山口県	7:08	27	佐賀県	19:02	27	佐賀県	23:04
14	佐賀県	6:28	23	香川県	7:08	43	埼玉県	19:13	43	京都府	23:25
44	神奈川県	6:45	23	佐賀県	7:08	44	千葉県	19:16	44	福岡県	23:26
45	大阪府	6:49	45	東京都	7:19	45	神奈川県	19:18	45	大阪府	23:32
46	京都府	6:51	45	大阪府	7:19	46	東京都	19:20	46	神奈川県	23:36
47	東京都	6:52	47	沖縄県	7:21	47	沖縄県	19:21	47	東京都	23:41

(2) 出勤及び仕事からの帰宅時刻

○有業者の平均出勤時刻は全国で3番目に早い

15歳以上の有業者の平均出勤時刻を曜日別にみると、平日が8時12分、土曜日が8時44分、日曜日が8時53分となっており、平日に比べ土曜日は32分、日曜日は41分遅くなっている。全国平均と比べると、平日は14分、土曜日は12分、日曜日は40分早くなっている。男女別にみると、すべての曜日で男性が女性より早くなっている。

平均出勤時刻の全国順位は3位で、最も早い青森県との差は8分となっている。

平均帰宅時刻を曜日別にみると、平日が18時23分、土曜日が18時9分、日曜日が18時32分となっており、平日に比べ土曜日は14分早く、日曜日は9分遅くなっている。全国平均と比べると、平日は33分、土曜日は17分、日曜日は5分早くなっている。男女別にみると、すべての曜日で男性が女性より遅くなっている。

平均帰宅時刻の全国順位は14位で、最も早い徳島県との差は21分となっている。

(表6-3、6-4)

表6-3 男女、曜日別、平均出勤時刻及び仕事からの平均帰宅時刻（平成23年）－有業者

(単位：時間)

佐賀県		出勤	帰宅
総数	平日	8:12	18:23
	土曜日	8:44	18:09
	日曜日	8:53	18:32
男	平日	7:53	18:54
	土曜日	8:40	18:45
	日曜日	8:51	18:42
女	平日	8:36	17:43
	土曜日	8:50	17:23
	日曜日	8:55	18:20
全 国			
総数	平日	8:26	18:56
	土曜日	8:56	18:26
	日曜日	9:33	18:37

表6-4 都道府県別、平均出勤時刻及び仕事からの平均帰宅時刻（平成23年）－平日、有業者

出勤			仕事からの帰宅		
順位	都道府県	平均時刻 (時:分)	順位	都道府県	平均時刻 (時:分)
	全国	8:26		全国	18:56
1	青森県	8:04	1	徳島県	18:02
2	静岡県	8:05	2	青森県	18:06
3	佐賀県	8:12	3	愛媛県	18:13
4	新潟県	8:13	4	島根県	18:14
4	和歌山県	8:13	5	和歌山県	18:17
4	徳島県	8:13	14	佐賀県	18:23
4	香川県	8:13	42	兵庫県	19:04
4	大分県	8:13	43	宮城県	19:06
43	東京都	8:37	44	埼玉県	19:18
44	高知県	8:41	45	千葉県	19:27
44	福岡県	8:41	46	神奈川県	19:29
44	宮崎県	8:41	47	東京都	19:45
47	京都府	8:43			